

🌿 こんにちは 🌿

「はちのへ創造学」の情報発信コーナーです



令和 5 年度から青森県では

「持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業」
「あおもり創造学」による魅力発信・地域課題解決プログラム

が青森県内すべての県立高等学校で始まりました。

八戸東高等学校では、まずは地元を知って欲しい、という思いのもと



「はちのへ創造学」として始動することになりました。

対象は 2 学年全員です。

8つの分野「農林水産」「医療・福祉」「工業技術」「商業」「教育」「自然環境」「芸術・スポーツ」
「観光業」に分かれ、自分が興味・関心のあるテーマを絞り込み、そのテーマについて調べ、課題を見だし、仮説を立てて検証し、結果をまとめ、発表するという一連の探究活動を 1 年間通して行います。

まず 1 学期は、、、

【八戸市役所による講演会】

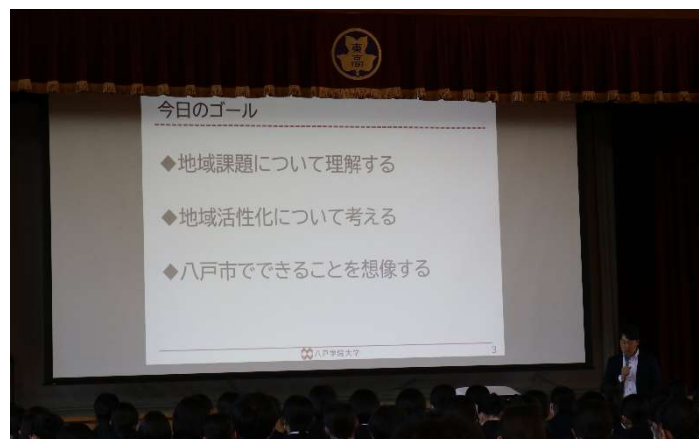
八戸市の現状と市の取組みを知るため、八戸市役所 総合政策部政策推進課 の毛呂 新 氏に講演していただきました。

住んでいる街について、意外と知らないことや、以前と大きく変化していること、など多くの発見がありました。また、市が長期的な視点で重点目標に従って、段階的に市政を行っていることを知りました。



【八戸学院大学による講演会】

探究のテーマを絞り込み、課題を考えるためのヒントをいただくために、ワークショップを含む講演会を 八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科 講師 井上 丹 氏 を講師にお迎えして開催しました。



日常生活の中で、漫然と捉えていることの中に、地域の活性化につながるヒントが隠されているのだ、と気づくことができました。ワークショップをとおして、生徒たちが悩んだり、熱く議論したり、ハッと気づいたり、互いにさまざまな刺激を与え合い、表情が明るくなっていくのがわかりました。



【課題設定のためのワークショップ】

いざ、テーマと絞り込み、課題を探るための練習として 青森高等学校 探究学習部 當麻進仁先生を講師にお迎えしてワークショップを開催しました。



たとえ、課題を設定しても、それが本当に課題として成立するのか？課題設定とは、検証を重ねる奥深い作業なのだ、ということ実感することができるワークショップでした。

【テーマを絞り込み、課題設定】

各分野ごとおよび班に分かれ、自分が興味のあることについて、調べたり、裏付けをとったりする作業が始まりました。そもそも課題を設定するために、まずは外部機関に電話をかけたり、出かける生徒もいて、徐々に自分たちで主体的に動く様子が見られるようになりました。夏休みの時間を有効に活用して、2学期はさらに活動を活発にできるといいですね。

